

鹿児島県漁海況週報

平成25年1月10日発行(1月3日～1月9日)
第2488報【旧暦:11月22日～11月28日/月齢20.8～26.8/潮汐:小潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

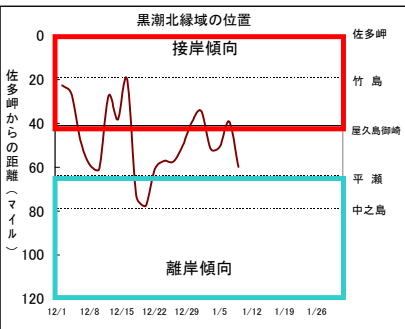
黒潮北縁域は、1月9日現在、平瀬の北4.2マイル付近にある。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、1月8日現在、57マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、佐多岬、竹島、中之島で0.1～1.4℃昇温し、その他の海域で0.2～0.9℃降温した。
 平年比較では、竹島、与路島で“やや高め”、黒潮流域、鹿児島、佐多岬、笠利崎で“やや低め”、その他の海域で“平年並み”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	22.0	-0.5	-0.7	やや低め
鹿児島	16.6	-0.3	-0.8	やや低め
佐多岬	18.2	+0.1	-0.7	やや低め
竹島	20.9	+1.4	+0.6	やや高め
屋久島御崎	22.0	-0.6	-0.5	平年並
中之島	22.0	+0.4	-0.2	平年並
笠利崎	21.4	-0.2	-0.5	やや低め
与路島	22.6	-0.6	+0.7	やや高め
与論	22.2	-0.7	-0.0	平年並
甕海峡	18.2	-0.9	+0.7	平年並

鹿児島～那覇定期客船観測は1/9～10
串木野～甕定期客船観測は1/9

【漁況】

○定置網

甕島海域では、クロマグロ(10～14kg)が10～50尾/日、メタジナ(600g)が50kg/日の入網。西薩南部海域では、クロマグロ(3～10kg)が80～150尾/日、サンマ(150～200g)が0.3～2.0トン/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ハカツオ(1.7～1.8kg)が20～30尾/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でクロマグロ(8～10kg)が100尾、キハダ(8～10kg)が30尾、ハカツオ(1.5～2.0kg)が1.2トンの入網。大隅半島東部海域では、週計で42統がサハ類中、マツ小、スルメイカ主体に17トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でブリ、チヌ、マダイ主体に2.0トンの入網。種子島海域では、多い日でクロマグロ(10～14kg)が40～50尾、マルソウダ(300g)が300～450kgの入網。

○キビナゴ刺網

甕島海域では、2～3箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、5～6箱/隻・日の漁。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～4kgサイズを40～50尾/統・日、6～9kgサイズを20～30尾/統・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、6～7kgサイズを10尾前後/統・日の漁。大隅半島南部海域では、4～5kgサイズを40～50尾/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2435報)							
						1日1統	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量				
旋網	阿久根	大	8	177	甕西 野間池沖 牛深沖 繩瀬	サハ類小53	マツ仔19	サハ類中14	22.2	0	—	4	74
		中	16	198	繩瀬 甕東	ウメワシ53	マイワシ小29	サハ類小9	12.4	0	—	7	85
	枕崎	大	2	21	野間池沖 甕東	マツ豆86	ゴマサバ豆6		10.6	0	—	6	234
		中	17	343	島間沖 屋久島南 種子島東	クサヤモロ小25	クサヤモロ小14	ゴマサバ中小13	20.2	0	—	18	320
	内之浦	中	0	—					—	0	—	0	—
	山川	中	0	—					—	0	—	0	—
計	大	10	199					19.9	0	0	10	308	
	中	33	542					16.4	0	0	25	405	
東海旋網	阿久根	0	—					—	0	—	1	130	
	枕崎	0	—					—	0	—	1	291	
棒受網	阿久根	37	48	阿久根沖 長島	ウメワシ56	マイワシ小27	カクチワシ16	1.3	0	—	16	13	
	内之浦	0	—					—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	42	17		サハ類中31	マツ小9	スルメイカ8	0.4	24	8	50	11	
刺網	阿久根	大	1	294	カツオ中98			294.1	0	—	1	219	
		小	0	—				—	0	—	0	—	
	海旋	1	661	カツオ小40	カツオ中37	キハダ20		661.3	1	780	0	—	
	山川	中	0	—				—	0	—	0	—	
	海旋	0	—					—	0	—	0	—	

○バッチ網

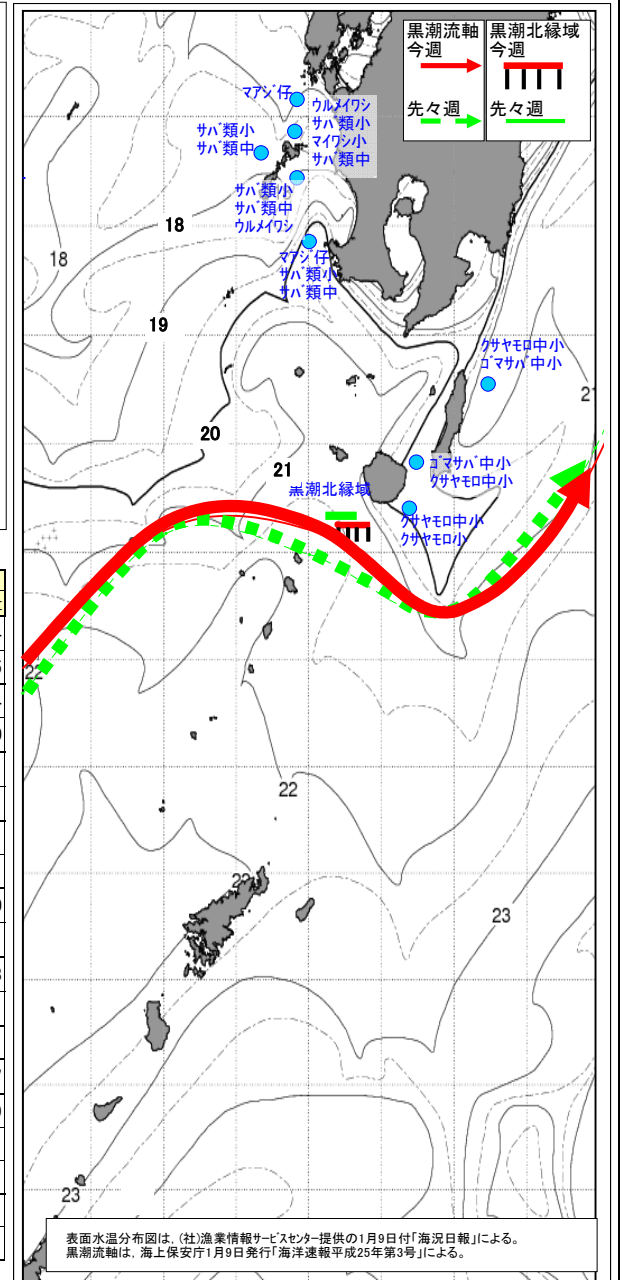
志布志湾海域では、シラスを製品で8トンの入札があつた。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、大ビを500～2,000尾/統・日の漁。屋久島海域では、大ビを46～56箱/統・日の漁。

○その他

甕島海域では、曳縄でハカツオ(2kg前後)を50～60尾/隻・日の漁。一本釣りでメジナ(600g)を10～20kg/隻・日の漁。西薩海域では、刺網で多い船でヒメ(1～3kg)を30kg/日、カマスワラ(1.2～1.3kg)を40～50kgの漁。一本釣りでメジナ(500～600g)を多い船で30kg/日の漁。曳縄でカマスワラ(1kg前後)を20～30kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、一本釣りでマダイ(1kg前後)を多い船で12～13尾/日の漁。志布志湾海域では、底曳網で多い船でマダイ(1kg前後)を10～20kg/日、チダイ(300～400g)を10～20kg/日、オオニハ(0.3～2.0kg)を25kg/日の漁。屋久島海域では、一本釣りでゴマサバ(600g)を50尾/隻・日、ムツ(1kg前後)を多い船で40～50kg/日、メダイ(5～6kg)を12～13尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流してツヅイカ(胴体のみ9kg)を4～10尾/隻・日の漁。延縄でムツ(1.0～1.5kg)を50尾/隻・日、ナンヨウキンメ(1kg前後)を10kg/隻・日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の1月9日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁1月9日発行「海洋速報平成25年第3号」による。